学校番号	209

令和８年度　理科

教科	理科	科目	化学演習α	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	改訂　プログレス化学基礎						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１年次で学習した化学基礎の内容を、問題演習を通じて補完しつつ、習熟をはかります。また、この取り組みを通じて実践力と応用力をつけます。受講生には立ち止まらずに学び続ける姿勢を求めます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
１年次に学習した化学物質の性質とその反応などの基礎事項を課題演習によって、習熟する。
【思考力、判断力、表現力等】
実験や観察に必要な知識の、データや図の見方など今後の探究活動に資する能力を習得する。
【学びに向かう力、人間性等】
科学全般の関心を深め、物事を科学的に解釈しようとする態度を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数値や単位の見積もりやそれらの処理などの今後の探究活動に必要な基礎的能力を身につける。	学習した知識を活用し化学変化や現象を数式や化学式で表現できる。	身の回りの現象や物質に　ついて、客観的な指標を用いて評価する態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	物質の構成	物質の成分 状態変化 原子の構造 イオン 元素 結合と結晶	a:原子、イオンやそれらからなる物質について理解する。 b:化学現象について、式を用いて表現できる。 c:自然界の現象に科学的な理解をしようとする。	定着テスト	定着テスト レポート	授業態度 ふりかえり

2	物質の変化	原子量 物質量 濃度 化学反応式 酸と塩基 水素イオン濃度 中和	a:物質量について、基礎的な知識をもつ。 b:濃度の利用について、適切に計算することができる。 c:学習グループ内で協調することができる。	定着テスト	定着テスト レポート	授業態度 ふりかえり
3	物質の変化	酸化と還元 酸化剤と還元剤	a:生活に関わる酸化と還元について知る。 b:酸化剤と還元剤における反応式を理解することができる。 c:学んだ知識を実際の生活に活用しようとする。	定着テスト	定着テスト レポート	授業態度 ふりかえり

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度